

## 第 15 回 史跡米子城跡整備検討委員会 議事録

日 時	令和 6 年 8 月 28 日 (水) 13 : 30 ~ 15 : 30
会 場	米子市役所第二庁舎 第 2 会議室
出席者	<p>【委員 11 名】</p> <p>田中委員長、石倉委員、川越委員、倉敷委員、林委員、濱田委員、前角委員</p> <p>(リモート) 金澤委員、中井委員、永松委員、萩原委員</p> <p>【事務局 8 名】 米子市文化振興課</p> <p>大塚課長、原文化振興官、濱野課長補佐、山根室長、中原専門官、浦木係長、井川主任、左古主事</p> <p>【助言機関】 鳥取県とっとり弥生の王国推進課</p> <p>梅村文化財主事</p>
欠席者	【委員】 小椋委員、神谷委員、高田委員、辻谷委員
1. 開会	
2. 議事	
(1) 植生管理 (ゾーニング) 計画について	
事務局	議事(1)植生管理計画について説明 (資料 1) ○経過と目的 ○基本方針と措置
委員	基本方針と措置 (資料 1-3) において、区域①と②それぞれに登城路に対する措置が記されているが、区域ごとの措置の内容に開きがある。①では登城路から 2~3m を目安に剪定・伐採をする。②では必要に応じて剪定・伐採をする。登城路に関しては、来城者の安全にかかわることであるため、区域にかかわらず共通する事項に回すか、両区域同様の措置にすべきではないか。
事務局	ゾーニングにあたり区域で分けているが、安全が第一となるため、同一の考えを持っており、同様の措置となると考えている。
委員	資料 1-6 に平成 29 年度国指定史跡米子城跡雪害対策事業の凡例があるが、位置図上に落ちていないのではないか
事務局	印刷の加減で、見えなくなってしまうている。個所としては図上左下の部分になる。今後見やすくなるよう修正する。
委員	区域②の保全・保護対象が動植物の措置について、“現在の植生を極力生かし、豊かな自然環境を保全するため、史跡整備で必要な場合を除き、一度に大規模な植生の改変は避ける”と記してあるが、必要であれば大きな改変をすると読める。その場合区域①の措置と変わらなくなる。“豊かな自然環境を保全する”ことを念頭に置くのであれば、その関係に寄り添った書き方をすべきではないか。
事務局	区間②の措置について、自然は守っていくが、試掘調査など今後の整備に資する調査をする場合、下草の除草などをするという意味で記している。しかしながら、ご指摘のとおり誤解を招く表現であるため、修正する。

委員	区域②の登城路に関する措置に“登城者の安全を脅かす可能性がある登城路周辺の樹木は、必要に応じて剪定・伐採を実施する”とあるが、本年初頭の積雪により登城路を横断する格好で、倒木が発生した。安全確保を判定する手法（一本ずつ樹木のカルテを作成するなど）を盛り込めないか
事務局	倒木に関しては日々パトロールをしているが、城山全体が広大であるため、すべてを確認することは難しい。また、一本ずつカルテを作成することに関して、今すぐにできる状況にはないが、安全確保のため注意して見回りをしていきたい。
委員	職員は歴史のプロではあるが、植物のプロではないので、どれだけ注意して見回っても限界があると思う。特に登城路付近の樹木については、どの樹が倒れると危険であるかなどを専門家の目でのチェックしていくことが必要である
事務局	指摘の通り、本件については樹木医、専門の先生方と見回っていきたい。
<b>(2) 三の丸広場整備について</b>	
事務局	議事(2)三の丸広場整備について説明（資料2） ○工事計画変更 ○修景施設仕様（内堀壁面、米蔵擁壁・米蔵平面表示） ○内堀・米蔵解説版説明文案
委員	芝が張られるまでの土地の管理はどうするのか
事務局	本年工事が年度末の来年3月ごろまで行われていく予定であり、その後次年度工事開始まで、2か月近くかかることになる。その間に雑草類が生えることが見込まれるため、適時除草するなどの管理をしていく予定である。
委員	内堀と米蔵について、現在遺構が埋めてある状態にあるが、今後現物を掘り起こして展示していく意向はあるか
事務局	遺構を見たいという意見もあるが、発掘調査時に数か月露出させたところ、日光等による風化が生じた。そのため、現段階では遺構の露出展示は考えていない。ただし、今後露出に関して新しい方法・知見が出てきたら考えていきたい。
委員	米蔵の平面表示について、長庇と建屋部分で色を違えるのは良いと思う。発掘調査にて米蔵の基礎の石列が確認されている。可能であれば建屋部分の外周に色を違えた石を並べるなどしてそれを表示できないだろうか。長庇についても礎石などの表示ができないか。
事務局	工事会社と協議をしてみる。
委員	説明看板の位置・向きについて、掲載する絵図面の向きが、実際の遺構表示の向きと会うように角度を調整するとより分かりやすくなる。
事務局	看板設置の向きに合わせ、現在地と遺構の場所がわかりやすく理解できるよう盤面の図面の配置を調整・修正する。
委員	内堀について、内堀と分かるようにカラー舗装されるが、その活用方法はどうか。

事務局	以前の整備検討委員会でも協議し、三の丸の整備計画にも謳ってあるが、歩道としての活用をし、三の丸へ自由に入れるようにする。
委員	現在使われている看板（枡形の説明版）について、デザインはいいが文面が読みにくいと観光客からクレームが来ている。読みやすいものにしてほしい。
事務局	枡形に使われているのは、反射板が使われており、読みにくいものとなってしまった。今後作成していくものについては読みやすさを考え、具材を設定する。
委員	解説文の段落分けを適切に、より分かりやすくなるように修正をかけてほしい。観光の方には用語の読み方、単語の意味が分からない部分があると思うので、読み方を書くなどの対応をしてほしい。
委員	文化財の解説文で観光客が知りたい情報は、文化財の構造（寸法、大きさ、建築様式等）をそのまま書いただけの文章よりも、歴史的な意味や背景、日本独自の精神性や文化、価値（国宝・重要文化財等）などを知りたいと言われている。 解説文の文字数が多く、さらに英文が小さくなり見づらくなる傾向があるため、解説板に使用される絵図や写真で理解できる情報や復元表示されて見えてわかるものは省略し、簡潔にすべき。解説文中の復元技法の「平面復元表示」は、対象物との関連性はなく観光客にとって役立つ情報ではなく削除するべきではないか。 解説板の背景色が紫で文字が白で識別しにくい。背景色は白で、文字は黒色ではっきりと視覚できるものにすべきではないか。 台形の形状が、文字列が斜めになり、写真周辺に余白が生まれる要因となっている。限られたスペースを無駄なく使用できる長方形が望ましい。 米蔵について、使用されている「米子御城平面図」は識別しにくいため、建物の描写がある「米子御城門正面之御絵図面」の方が分かりやすい。橋津藩倉の写真に「復元された米蔵」という表記があると有益な情報になると考える。 また、米蔵が何棟存在し、どれ位米を蓄えていたのか、一俵は何キロか。当時の米の時価相場はいくら位だったか。斗場にはどのように米が持ち込まれたのか等々。内堀に関しては、現在の場所ではどこからどこまであったのか。どれくらいの深さや堀幅だったのか。どんな橋が架かっていたのか等々。来訪者の目線で、興味関心がわく内容にしてほしい。
事務局	いただいた意見をもとに修正をかけていく。
委員	英文が入ってくると字数の問題が出ると思うが、QRコードを付けることは考えていないか。
事務局	QRコードについては検討中であり、HPの準備等ができれば活用したいとは考えている。
委員	以前の委員会時の現地視察にて石垣の下から水が出ていることを伺った。排水について考えて設計してあるとは思いますが、昨今の自然災害に配慮しながら工事を進めていってほしい。

<b>3. 報告</b>	
<b>(1) 令和 6 年度米子城跡整備工事状況について</b>	
事務局	三の丸広場工事、登城路整備工事について説明（資料 3）
委員	本会で出た意見も参考にしながら進めてほしい。
<b>(2) 石垣カルテと文化財石垣予備診断(案)について</b>	
事務局	過去の石垣修理、今後の石垣修理予定（二の丸枡形）、石垣カルテ作成状況、文化庁文化財石垣耐震診断指針（案）について説明（資料 4）
委員	石垣変位調査結果について、前回との変位のマイナスはどういうことか
事務局	最新計測から前回計測との差になる。伸びたり縮んだりしているため、マイナスになるが、現在のところ測定誤差の範囲内
<b>(3) 令和 6 年度米子城・魅せる！プロジェクト事業について</b>	
事務局	令和 6 年度事業について説明（資料 5） 実施済事業 ・米子城ライトアップ（夏の陣） 今後の実施予定事業 ・ダイヤモンド大山観望会 ・米子城ライトアップ（ダイヤモンド大山編、冬の陣） ・新年あけまして米子城 2025